

令和3年度 学校運営協議会による学校関係者評価(各委員の意見)

- 1 学校評価結果を御覧になって、児童の表れや本校教育活動の良い点・悪い点等について、御意見・御質問等をお書きください。

【良い点】

- 児童アンケートのほとんどの設問で80%を達成し、特に⑥「自分の仕事を友達と協力してできる」⑩「運動することが楽しい」は、子供たちが強く感じているようであると思う。「運動」については、1学期より楽しんでいる子が増加し、体力づくりをしながら、達成感が持っていて良いと思う。3
- 保護者アンケート集計結果において、①「授業は楽しく分かりやすい」、④「安心して学校生活を送っている」、⑤「友達と協力して活動することができている」が90%を超えており、子供たちを通じて保護者が学校に寄せている信頼性の高さがあり、大変良いことだと思う。4
- 集計結果を見れば、そつなくかなり良いと思う。近くに自然を感じられる場所もあり、歴史もあり、良い環境に恵まれていると思う。それらを生かし、素直な子をベースにもっと特徴のある子が出てきてほしいなあとと思う。
- 子供たちは、安心してお互いを思いやりながら学校生活を送っている。家族・先生・地域の人・友達とよりよい関係が築けていると思う。それは、家庭生活が安定していて安心できるものになっているからだと思う。さくらメールやお便りなどで学校も安心できる場になっていることも大きいと思う。3

【悪い点】

- 自ら進んで発表するなどの積極性をもっと育てられたらよい。
- 気になるのは「全くそう思わない」と感じている子が、全ての設問で2～8%いることである。保護者アンケート④「安心して学校生活を送っている」の回答で、「全くそう思わない」が出現したのが気に掛かる。2
- 児童アンケート集計結果においては、「そう思う」「まあそう思う」が概ね80%から90%という中、⑪「困った時、先生や友達に相談できる」が75%と低く、また、「そう思わない」の比率も他に比べ高く、少し気になる。困った時に相談できる相手がいないと一人で抱え込んでしまわないか心配される。相談や報告をしにくいと感じている子が25%いることは改善が必要である。5
- 一刻も早いコロナの収束を願うばかりだが、今後は学校の教育活動をどんどん公開し、活動の「見える化」を図ってほしい。また、コロナ渦の中で、先生方と保護者、保護者同士のコミュニケーションの場が全くといってよい程なくなった。私ども(運営委員)も、校長先生、教頭先生、教務主任の先生は知っているが、他の先生方はほとんど知らない。先生方も私たちの組織や私たちのことが認知されているのかなと思うことがある。
- 挨拶や給食の評価が他より低い件についてだが、大きな声でなくても互いに気持ちの良い挨拶ができれば良いと思う。コロナ渦の給食は前向き・黙食と聞いている。コロナが落ち着いて友達とグループで食べられるようになったら、もっとおいしく残さず食べられると思う。

令和3年度 学校運営協議会による学校関係者評価を受けて

～来年度の教育活動に向けての改善方策等について～

- 児童アンケートの設問③「自分の考えをもち、友達に伝えることができる」が社会では大変重要である。そのため、子供たちが常に自らの考えをもつことの大切さに気付き、自分の考えを積極的に声に出していくことを支援する取組を実施する。
- 多様性が重要視される今日、自由に表現でき、お互いにそれを尊重し認め合えるような教育活動を実施する。
- 児童アンケートの設問⑩「運動することが楽しい」も成長期には大変重要なことであり、子供の運動する・しないが2極化していると言われていた中、学校が果たす役割は大きい。この点については、学校から家庭(保護者)に運動の大切さを啓蒙する。
- 児童アンケートの設問⑪「困った時に、先生や友達に相談できる」について何かしらの取組を行う。コロナ渦の中で人との関係づくりが難しいが、自分の考えを伝えたり相手の思いを理解したりしながら友達づくりができるようにする。今まで以上に子供たちとのコミュニケーションを増やし、相談しやすい環境づくりに努める。
- 学校行事を制限される中で、何か目標を見つけ、みんなで協力し高め合えるような声掛けや雰囲気づくりが大切である。教員、友達との信頼関係を築けるようなコミュニケーション能力や人を思いやる気持ちが育っていくよう、声掛けや見守りを引き続き行う。
- 学校評価の結果から、特に「子供たちのあいさつ」について評価結果と実際のギャップが気になる。「進んであいさつができる」の項目にはほとんどの子が該当しないと感ずる。「学校で、教員には、そうしているのかもしれない。」「子供たち同士のあいさつもあまり聞いたことがない。」「あいさつする子も相手から反応が返って来ないので、止めてしまうこともありそう。」等々の保護者・地域の方の声を大事にする。
- コロナ渦の中、学校の教育活動も思うように進まない(計画が変わってしまう)ことが多々ある中、アンケート結果は良い傾向なので、今まで同様、学校と保護者が教育活動に対して、共通理解して進めていく。
- 「職場の整理・整頓」「生徒をはぐくむ家庭環境の向上」は必要である。
- 子供たちが主体的に取り組む授業づくりを推進する。
- 家庭と連携し、どの子にも運動を日常化できる場を設定していく。
- 子供たちや保護者の困りごとを相談しやすい体制づくりをする。
- たてわり活動(本校ではサンロード活動)を重視し、交流活動を推進する。
- 児童会活動で、あいさつ運動を盛り上げる。